

## 山ぼうし

第18号 平成18年 9月28日

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されており、  
花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし  
の碑（初代 PTA 会長盛合聡の揮毫）がある。



## 「人間万事塞翁が馬」

校長 及川 敏 昭

**3年生**の就職試験が終わりました。結果は県外就職・管内就職についても今年は大変好調で、受験したほとんどの生徒が就職内定通知書を手にする事ができました。生徒達の日頃の努力の成果であると思っております。休み時間になって顔を喜び一杯にし、ほおを紅潮させて校長室に報告に来る生徒の姿や表情に接するとこちらも嬉しさで胸が一杯になります。

**進路**が実現をした生徒は、半年後から始まる厳しい社会生活にスムーズに対応していけるように、毎日の授業にさらに意欲的に取り組み、身心を鍛え、社会人として必要とされる基本的なことを是非きちんと身に付けておくことが大切です。

**また**、残念ながら本人の希望を満たすことができなかつた生徒が何人かありますが、どうして私は失敗したのだろうと不幸に思っているかもしれませんが、しかし決して落ち込むことはありません。

「**人間**万事塞翁が馬」ということわざのように、人生というのは不思議なことに不幸と幸福が必ず交互にやってくるものです。人間というものは人生の中で何が不幸になり、いつ幸福がやってくるか分からないということがよくあります。

**従って**、不幸だと思ふときはくじけずに胸を張って堂々と生き、幸福と思ふ時も有頂天にならず、じっくりと自分の務めをきちんと果たす心がけが大切だと思います。

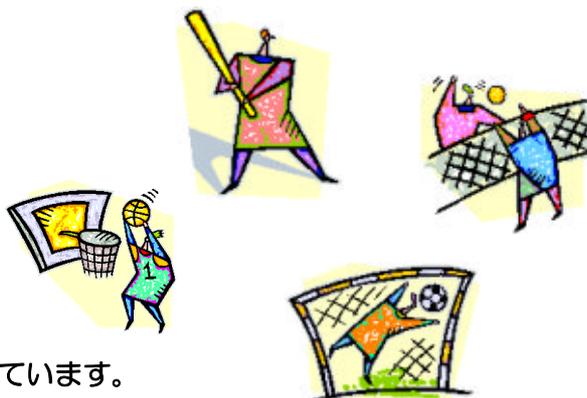
**失敗**しても悩まないでラッキーと考えること。そして、失敗とは最高のノウハウなのです。人間は失敗すればするほど経験も増え世の中のことも分かってくるのです。失敗をてこにより自分が大きくなれると考え、常にプラス思考で生活をしていくことが大切です。

**捲土重来**を期し、また新たな進路や目標を定め、万全の備えをして再度チャレンジをしてください。きっと良い結果が生まれるはずですよ。

## 10月行事予定

10月 2日 (月)	安全の日
10月 5日 (木)	薬物乱用防止教室
10月 6日 (金)	高文祭総合開会式 (一関)
10月 6・7日	ロボット競技大会 (石鳥谷町)
10月11日~13日	インターンシップ (2年)
10月16日 (月)	性教育講演会 (2年)
10月19日 (木)	生徒会役員選挙
10月24日~25日	校内体育大会
10月26日~27日	思春期歯科保健指導
10月27日 (金)	漢字検定
10月31日 (火)	管内事業所見学会

※ この他に 自動車教習所入学説明会 が予定されています。



# 第6回校内ロボット競技大会

平成18年度第6回校内ロボット競技大会が9月21日(木)、赤前小学校と津軽石中学校の児童生徒と引率の先生方、約50名を招待して本校第一体育館で開催されました。大会には機械科から3台、電気科から1台、電子機械科から1台、設備工業科から1台の合計6台がエントリーし、それぞれアイデアを出し合って作り上げたロボットを操作し、競技に取り組みました。

競技規定は高さ60cm、横と奥行き50cm以内、重量は12kg以内と決められており、競技ルールは、制限時間内にコート内の棚に置かれた直径約20cmの輪合計24個を取り込み、高さの異なるボールのフックにどれだけ多く掛けられるかを競うものです。ロボットが棚から輪を取ったり、フックに上手く掛かった時は、会場から大きな拍手が起きました。トーナメント方式で行われたこの大会で優勝したのは電気科のロボット「イーストキング」で、準優勝は設備工業科の「ラッシュイ2006」でした。



制作は夏休みを返上したり、放課後遅くまで残っての作業だったようです。この大会でいい結果を残せたチームもそうでないチームも、次の目標である県大会へ向けて現在も改良に余念がありません。県大会は10月7日(土)に石鳥谷アイアリーナで開催されます。本校の6台すべてが県大会に参加し、11月に埼玉で行われる全国大会を目指します。本校のロボットの活躍にご期待下さい。



## 就職活動・始まる



### 《就職希望者の内訳》

管内	37名
県内	11名
県外	35名
その他(公務員等)	5名
計	88名

※卒業予定者113名中

9月16日。卒業後すぐに社会人の道を選択する全国の高校生にとってはいよいよ「戦い」の火蓋が切って落とされることとなった。就職試験の解禁日である。本校でも、3年生全体の8割弱にあたる生徒がこの「戦い」に挑むこととなった。

今年の求人状況としては、管内就職に関してはほぼ昨年と同様の人数の求人を頂くことができ、本校に対する地元企業の期待の心を感じることができた。また、昨年同様に、地元企業の信頼の厚い就職支援相談員の伊藤恒雄氏にお世話を頂いたことも、今年度の3年生にとっては

大きな支えであった。

一方、昨今の景気回復の波を受けてか、県外就職に関しては昨年をはるかに上回る数の企業から求人票を頂いた。結果として、今年度の3年生たちも、幅広い選択肢から自分の適性や将来を考え、自らの将来を決断することができたのではないだろうか。

9月26日現在、既に就職試験の結果を受けとった生徒も出始めている。だが、生徒たちの卒業後を決める就職試験という「戦い」はまだまだ始まったばかりである。3年生全員が笑顔で本校から巣立っていけるよう、全校全職員を挙げて彼らの就職活動を応援していきたい。



### 《本校への求人社数》

管内	22社
県内	36社
県外	253社
計	311社

※製造業、技術系サービス業などの工業系の求人を下さった会社についての集計

本校では就職試験を受けに行く前に、学校推薦を受けるため、そして礼法指導のため、一人ひとりが各担当の教師のところを挨拶して廻り、最後には全員が校長先生の激励を受けて「戦い」の場へ赴く(左の写真はそのイメージ)。家族の方々をはじめとするたくさんの人々の支えを自らの力として、見事栄冠を勝ち取ってくれることを願ってやまない。

(進路指導部)